



すてっぴ あっぴ



中学生になって（生徒作文）

以前、学活の時間に「中学生になって」というテーマで書いた作文を紹介します。

「めんどくせ〜。」入学式の日はずっとそう言っていた。階段で3階まで行き、この1組へ。

入学式で体育館へ移動した。「こわい」と思いながら入学式が始まった。先輩たちが歌う校歌は、心の中でよくひびいた。「来年にはこの歌を歌うんだ」と思った。先輩たちのよさこいソーランや、吹奏楽部の演奏は、「すごい」と思った。

入学式が終わって教室へ帰ってきた。中学生になったと感じた後の教科書はとても多く感じた。

翌日は、いきなり給食や仮入部が始まった。すごく楽しみだった仮入部、最初の仮入部は、サッカー部に行った。トリムコース3周を6分45秒で「ダントツ1位」。先輩にも「早っ。」と言われたので、すごくよかったです。その後の対面パスとかは、楽しくやれてよかったです。

金曜日は「学級役員選挙」。給食委員になれて、よかったです。これからもこのクラスになじんで、みんなと仲良くできたらいいと思います。そのためにいろんなことを自分から進んでやったりして、それを完璧にこなせるようにがんばります。

（1組 ■■ ■■）

中学校の門をくぐる時、どんな気持ち、感情を持ってくぐったか。人それぞれの思いがあるなか、私は不安でしかたがないまま一歩をふみ出した。クラス発表の紙がでかでかとはり出されていた。「仲いい人と一緒にになりたいなあ。」私の不安は勉強や部活などではなく、友達。そう、人間関係のことで不安だったのだ。

クラス発表の紙を見終えて、クラスに行く。そこには親友や仲のいい友達がいて、ほんと胸をなでおろす。でも、落ち着いてまわりを見ると、知らない人もいて、「やっていけるかなあ。」とまた不安がよぎる。

こんな感情をいだきながら、一日目を終えた。二日目、登校するとやはり知らない人がいて、話しかけることもできず、仲のいい人の方へ行ってしまう。

「なあなあ。」話しかけてくれた人がいた。ありがとう。そして勇気があるな。この2つの感情が頭の中をぐるぐると回る。そして、話しかけてくれた人が友達になったのだ。とてもフレンドリーで、あだ名を付けてくれた。

そのやさしさを感じるたびに、「自分はなんて臆病ものだ。」と感じる。勇気を出して話しかけてくれた、その人の勇気を、私はとてもすばらしいと思ったし、見習うべきだと思った。

中学生になって、必要な「勇気」を探し、人に対してのやさしさ、時には厳しさを伝えていければいいと思う。

だれか知らない人に声をかけてみようと思えた。

（1組 □□ □）

私が中学生になってがんばりたいことは、部活動と勉強の両立です。中学では、部活動があるので、小学校の時より忙しくなるけれど、精いっぱいがんばって両立させたいです。中学校のことは、まだあまりわかっていないため、不安はありますが、いろいろなことにチャレンジしていきたいと思います。

私は中学校に入って、とても規則が厳しかったのでおどろきました。授業の時に時間を気にしないといけないし、そうじの時も話してはいけないだったので、大変だなと思いました。でも、学年集会や全校集会で、中学の規則を守ることの大切さがわかりました。先生が、中学は大人になるための学校で、社会に出た時に困らないようにしないといけないと説明したからです。私は、小学校の時までは社会に出ることなんて、考えたことはなかったけれど、中学に入って、少しずつ大人に近づいているんだと実感しました。仮入部では、2、3年生の人たちが、真剣に部活をしているところを見て、すごいと思いました。私もあんな風になれたらいいなと思います。中学でのクラスで、一年目を楽しく過ごしたいです。

中学では、規則を守っててきぱきと行動しようと思います。勉強、部活以外にも、習い事も続けられるようにがんばります。クラスのメンバーを大切にして、委員会もがんばろうと思います。小学校の時のように楽しむときもあれば、とても大変で疲れる時もあるかもしれないけれど、全部自分のためなんだとしっかり忘れずに、頑張ろうと思います。

（2組 □□ □□）

僕の一学期の目標は、友達をいっぱい作ることです。そのためには、友達とたくさんコミュニケーションを取らないといけないです。もう少しで始まる林間学校でもいっぱいクラスの仲間などと積極的にしゃべっていききたいです。友達をたくさん作ることによって、仲間同士で相談などが出来たり、お互いが協力したりすることが出来るので、僕はそれがとても楽しみです。入学式の時は、不安でいっぱいだったけど、今はクラスの人といっぱいしゃべれているから、僕はとても満足しています。入学式で、僕はとっても不安でした。なぜかという、このクラスのほとんどが笹原小学校卒業の人たちで、僕は笹原小とはちがう、となりの摂陽小学校だからです。摂陽小学校は、笹原小学校みたいに人数が多い学校じゃないからです。それでも僕は「友達をたくさん作る。」を目標にがんばりました。だから今は、クラスの3分の1が友達になりました。だから、あとの3分の2の人とも友達になるために、いっぱいコミュニケーションを取っていききたいです。僕はクラブチームでサッカーをやるので、勉強とサッカーを両立出来るようにがんばります。この中学校生活で一日一回は必ず手をあげて発表したいです。これまで数多く家族、地域のみなさん、先生に小学校時代、支えられてきました。だから、その支えられてきたぶん、中学校生活をがんばっていききたいです。僕は理科が苦手だけど、がんばって授業に取り組んでいききたいです。逆に自分の得意な体育の授業では、その分、全力で取り組んでいきます。感謝の気持ちを忘れずに、いいスタートを切りたいです。

（2組 ■■ ■■）

4月1 1 日に僕は笹原中学校に入学しました。入学式のあとの入会式などでは、吹奏楽部の演奏がすごく、花は咲くでは歌声だけで表現するだけではなくて、手や体で小さくや大きく表現していました。しかも、東日本大震災の復興テーマソングだと初めて聞いて新しい事を学びました。二曲目では、全体が一つになっていて、すばらしい演奏を聴くことができました。そして、3年生の演技では、明るく大きな声で大きく表現をしていたので、さすが先輩たちはやっぱりすごいなと心の底から思いました。生徒会長の山本さんも堂々としているなと思いました。

それから、あわただしい毎日が始まりました。2日目にはずっと体育館に座っていて、いろんな所が痛くなりました。校内めぐりでは、学校中を歩き回り、全部の部屋を覚えるのは難しかったです。委員では、学年委員になり、責任という重い2文字を大きく受け取りました。教科リーダー決めでは、自分が前に立ち、みんなの事を決めていきました。クラス目標を決める時には、自分が前に立ち、みんなと話し合い「みずのまこと」という6文字の合い言葉を納得いくまで考えました。

部活動の説明会では、先輩たちが優しく教えてくれました。仮入部では、部のすみずみのことまで教えてくれて、しかも練習の内容まで教えてくれました。

もくもく移動では、学年委員が前に立って進んでいくのですが、一年生よりも二、三年生はすごく静かで、すごいなと思いました。

（3組 ■■ ■■）

入学式当日、いよいよ中学生になるという楽しみと、不安でいっぱいだった。入学式では、大半が顔見知りで少し安心した。クラス分けで、仲の良かった友達とクラスがはなれたときはショックだったが、今ではこのクラスでよかったと思っている。

委員、教科リーダー決めでは、学年委員になりたいと、自分の意見を主張したことで、委員長にまなれた。だから、これからは私がクラスの中心にたてるように努力していこうと思った。

クラス目標決めが、学年委員さっそくの仕事だった。みんなの意見をまとめるのが大変で、時間はかかったが、みんなが納得できるクラス目標をなんとか作れた。

部活動説明会では、各部活の人たちが、わざわざ新1年生のために部活動紹介をしてくれた。私が興味をもったのは、テニス部と卓球部、そして吹奏楽部でした。テニス部はラリーが長く続いていて、すごいと思いました。卓球部は、跳ね返ってきたボールを見て、スマッシュを打ったりしていて、カッコいいなと思いました。そして、私が一番興味をもったのは、吹奏楽部でした。一つの楽器が出す音が重なって、とてもきれいに聞こえました。そして、私もあんな風に吹けたらいいなと思いました。

（3組 □ □□□）

中学校に入学した今、不安は少なく楽しみなことが多い気がする。入学する前までは知らない人もいるし、勉強も難しくなるので、中学校に行きたいと思うことは一度もなかった。しかし、入学式に行くと、クラスの人元気よく明るくて、良いクラス作りに最適だと感じる事ができて不安が減り、部

活動や林間学校、そして授業も楽しみになってきた。特に、部活動では学校を引っぱる存在の野球部に入って、みんなで楽しく強くなれるように頑張りたい。勉強面では、小学校からずっと苦手としている国語を積極的に勉強して、テストの点数や成績を良くしたい。また、得意な教科でも気を抜かずに授業をこなしていきたい。

1年生での目標は、勉強と野球の両立です。勉強面では、家で時間を作り予習と復習をして、テストで450点以上を目指して頑張りたい。野球では、レギュラーを取ってチームの中心打者になって、チームの勝利を導いて、悔いのないようにしていきたい。最後に生活面では、早寝、早起きや、あいさつや礼儀を正しくできる人になれるよう頑張っ取り組みたいと思う。

1年間の中でつらい時、不安な時が来ても、その事を乗り越えられるような人になるため、自分の気持ちや思いを伝える勇気を持っていきたいです。

（4組 ■■ ■■）

中学生になって、ずっと仲良しだった友達とクラスが別々になりました。一日目は、だれとも話さず不安でした。少したつと笹小で同じだった友達と話せました。その時はうれしいけど、話し終わると静かになってしまいます。だから、これからは前から知っている笹小の友達だけでなく初めて会う人にも話してみようと思います。同じ教科リーダーなど、きっかけがあれば、話してみようと思いました。そうして新しい友達ができれば学校でも楽しくできると思います。

中学校では、授業が50分間になります。初めて50分間になると聞いた時は、「たった5分のびるだけ。」と思いました。でも、五分長くなるのが六回あるから、いつもより30分も長くなります。授業中は姿勢をくずしても動いてもだめだから、すごくつかれます。勉強が追いつかないというのは、授業が難しいし、スピードが速いだけでなく、つかれている中でも集中しないといけないこともあると思いました。授業が長くて、もう一週間くらいたった気分です。

部活動紹介の時、二、三年生の人部活についての長い文章をスラスラと覚えてすごいと思いました。私たちも一年後には前の部活紹介の時みたいにできるようになりたいと思いました。そうなるためには、みそあじを守っていききたいと思いました。

中学生になってがんばりたいことは、三年間忘れ物0にすることです。忘れ物は、笹手帳を何度もチェックしたらなくなると思うので、それだけでもがんばりたいと思います。

（4組 □□ □□）